



ものづくり日本大賞

中国経済産業局長賞

【伝統技術の応用部門】

# 熊野筆の伝統技術を活かして アニメのプロフェッショナルが認める アニメ筆を開発



近年の絵筆は職人の技術力や原料の質の低下等により、品質低下の傾向にあったなかで、繊細でハイレベルなアニメーションの背景画を描くアニメ業界では、それに対応できる筆を求めていた。そこで、これまで日本画筆で培った伝統技術を応用し、スタジオジブリとの共同開発により、試行錯誤の上、一本の筆で細かい線から広い面まで描けるオールマイティ的な筆を開発した。

十数種類の毛の配合割合と穂先の形にノウハウがあり、アニメ筆として重要な要素となる穂先のまとまり、適当な弾力、色含みの良さ、しなやかな描き心地を実現するとともに、筆の寿命を延ばした点も評価される。

日本だけではなく、海外のアニメ業界からも注目を集めている。



受賞者 西田 正美

所属企業 株式会社松月堂